

Tsunagu

45th

繋ぐ 全員で、
全力で。

拡

特別対談第二弾

溝呂木奈美 × 大塚良幸

東京ブロック第48代会長

石岡 JC 第45代理事長

大

「拡大の意識と意義について」
拡大の意識とは
拡大の仕組み化とは
女性メンバー拡大と効果とは
子育てとJC
女性拡大の極意



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です

大塚良幸（以下、大塚） 本日はお忙しい中、対談のお時間を取っていただきありがとうございます。短い時間の中ですが、どうぞ宜しくお願い致します。

溝呂木奈美（以下、溝呂木） 宜しくお願い致します。

大塚 石岡青年会議所は本年、創立45周年の節目の年とブロック大会を主管するという絶好の機会を迎えます。会員拡大においても、重要視して取り組んで参りたいと思っております。私たちの地域（石岡市）においては、地域に残る若者が少なく、地域を転出する現状が継続しております。行政としても思うような対策がとれず、地域の大きな問題となっております。2040年消滅可能都市として選定されております。この問題に対して、我々石岡青年会議所は、この地域を、地域愛を持って考えるべく運動をして参りたいと思っております。私たちが地域の人たちの意識を変革させ、街に賑わいを持たせ、住み暮らす人たちが自分たちの地域は自分たちで創り上げたい。そのためには、一人でも多くの仲間が必要です。本年、会員拡大に力を入れて、まだ見ぬ景色を共に探求し、共に挑戦できる仲間を創り上げ、未来へ繋いで行きたいと思っております。

本日の対談は、これまで石岡青年会議所が日本青年会議所との繋が



りから実現した貴重な機会であると考えます。石岡青年会議所が2019年の運動を力強く且つ持続的に伝播させるために、2016年度に拡大日本一の偉業を成し遂げた溝呂木会長との対談を実現し、意見を交換の場を設けることで、石岡青年会議所メンバー一人ひとりの運動意識昂揚と大きな励みに繋がり、全員で、全力で挑戦できる組織へと成長することできる確信しております。

拡大の意識とは

大塚 それでは早速、本題の会員拡大について進めさせて頂きたいと思っております。

溝呂木 はい、宜しくお願い致します。

大塚 当LOMは、2018年度と今年2019年度の卒業生を合わせますと16名となり、もしも拡大が出来なかった場合、2020年の組織は20名前前半スタートの人数となっております。2019年度石岡青年会議所は未来に繋ぐため、拡大に力を入れて活動して参りたいと考えておりますが、拡大の意識について溝呂木会長はどのような考えでしょうか？

溝呂木 意識についてですが、理事長はトップですので、意識は十分に高いかと思えます。同じように正副（スタッフメンバー）も拡大へ



の意識は高いと思いますが、重要なのはスタッフではないメンバーにまでその意識を持って頂く事が大切です。やはり、会員拡大は一人ではできませんので、組織を挙げて行っていかなければなりません、いかに全メンバーにまで会員拡大の必要性を伝えていくかが重要で、その為にも理事長大号令が必要だと思います。2006年に入会した年に会員拡大を行った際は100名以上のメンバー数にまで拡大を行いました。しかし、私がある野青年会議所の理事長職（2016年度）をお預かりしていた時はスタート会員数が49名、約10年で半分になりましたが、10名入会しても15名卒業してしまえばほとんど減っています。これが全国的に言われている事だと思います。

2016年は25名拡大をして、74名まで会員を増やしました。次の年も拡大に力を入れて取り組みましたが卒業生が多く2019年は70名でのスタートとなっておりますが、やはり必要な事は全メンバーへの意識付けをどのように行っていくかが重要で、毎回の例会や理事会での挨拶で理事長が必ず拡大の話をする事が重要です。そして、毎月の拡大セミナーや拡大会議を実施する事が重要になります。月に1回は開催して、メンバーが今年は拡大をやるのだと言つ意識をもってもらえる事が大切です。ブロック大会を開催するとなると、それを成功させなければいけないと主として捉えすぎてしまいがちではありますが、それは十分に力を入れるとメンバーの力が分散されてしまうので注意が必要かと思えます。ブロック大会を会員拡大にどのように結び付けていくのか、大きな運動にはやはり人数が必要ですので、そこをうまく伝える事が大切ではないかと思えます。

また、卒業生の皆様も巻き込んで拡大の意識を高める事も重要です。拡大は毎年やるものであるという風土を作ってしまう事、仕組みを作ってしまう事が大事です。

大塚 会長がおっしゃる様に今年はブロック大会もあり「主」が二本柱となってしまう訳ですけども、今年はブロック大会にも確りと向き合って行きながらも会員拡大にも確りと取組んで参りたいと思っております。

溝呂木 はい！頑張ってください！

拡大の仕組み化とは

大塚 当LOMにおいては、2012年に33%拡大を行い日本青年会議所からも表彰を受けました。しかし、やはり拡大に強い年、拡大に弱い年など年度によって違いがありますが、継続して成果を挙げる為のコツなどお聞かせ頂ければと思います。

溝呂木 LOMで会員拡大の仕組みづくりを行っていかねばいけ

ません。毎年、その仕組みを確りと継続的に実施していく事で必ず入会に繋げていく事が大切です。理事長さんによって様々なやり方があったり、拡大担当の委員長さんによっても様々なやり方があり、成果が違うとは思いますが、ある程度の枠としては、毎年これをやる、プラス何をやると思ったように基本となる仕組みを継続して実施する方が良いと思います。

拡大は1年5カ月あるいは1年3ヶ月必要になります。予定者の段階で前任者との引継ぎやリストアップとリストの更新は終え準備をし、11月12月で拡大訪問を実施するんです。1月に認証を目指してとにかく頑張る！会員拡大は7月までと決め、そのあとは新入会員のフォローに回ります。7月までに入会したメンバーのフォローに半年間かけて育て、次の年の準備を行う、この仕組みをサークルのように回すと良い循環が作れます。

例会への出席回数や委員会出席回数など、LOMさんによって入会の条件は違うと思いますが、条件をクリアできるようなスケジュールを確りと組んで、ここで異業種交流会を組み、拡大会議を実施、例会に招待して、といったような年間フォーマットを作成します。さらにプラスアルファで委員長さんのカラーを入れてあげると必ず毎年会員拡大ができる組織になります。

大塚 予定者の段階から次の拡大担当の委員長さんが本気出すって事ですね！

溝呂木 そうです！予定者の段階でリストを引き継いで、新たなリストに更新して、さらに12月からは拡大訪問を実施して私たちは2月に拡大専用の例会を行います。とにかく一般の方を多く呼べるような内容にします。私の年はカラテカの入江さんと呼びました。昨年は、K-1の魔梁斗選手と呼びました。若者が来て面白いかな？と思うような方をお呼びして実施します。入江さんの時は・・・その1回で16名の方に入会して頂きました(笑)

大塚 すげえ・・・いや、すごいですね(笑)

溝呂木 おすすめです♡ ハハハ・・・(笑)

溝呂木 入江さんは青年会議所の事とかをオプザーバーの方々に良く言ってくださって、講演の中でも「入った方がいいよ」とか言ってくれるのですごく助かりました。

とにかく！そういった例会を前半に開催する事が大切です！そして必ず入会に繋げるようなクロージングを確り行う事ですね。そして、必ず担当としてバディを付ける事が大切です。

うちの課題も新人メンバーのフォローなんですけど・・・(笑)
東京ブロックとしても会員拡大は全国2位となり、ブロックとしても順調に拡大を実施しております・・・(笑)

大塚 石岡青年会議所としても予定者の段階をちょっと過ぎてしま

ましたけれども、これからさらにスタートダッシュして仕組み作りを実施して来年に繋ぐことができるような仕組みを作って参ります。

溝呂木 そうですね！早めに行った方がより効果的かと思えますので頑張ってください。山形の鈴木先輩の拡大方程式なんかも活用してもらうといいかと思えます。

私も、拡大方程式を活用しているのですけれども、組織として行う事と、個人で行う事があって・・・個人の行う事としてはメンバーがJCってこんな団体ですよとか、年会費はこのぐらいかかりますよとか、時間はこのくらいかかりますよとかの説明を全メンバーが話せるようにあらかじめトレーニングしておく事です。また組織として行う事というのが先ほどもお話ししましたが、拡大訪問だとか、スケジュールを組むだとか、今の市の現状を把握しておくだとかが必要で



女性メンバーの拡大と効果とは

大塚 なるほどです！会長に是非ともお聞きしたのが、当LOMでも女性会員が3名おります。今までは男性だけで構成されておりましたけれども、ここ数年で女性会員も入会し事業構築におきましても女性の目線の事業が出来たり、色々良い変化が見られるようになって参りました。会長が考える女性会員が組織にもたらす力とは何か教えて頂ければと思いますがいかがでしょうか？

溝呂木 女性会員がいると青少年事業とかは保護者の方々に安心して事業に参加して頂けると思えます。例えば女性メンバーが運営幹事を行った場合は細部までのフォローをしてくれるので、委員会メンバーが盛り上がる、あとは、例会の出席率が上がります。

また、あきる野市の人口が約8万人ですが、メンバー数は70名内女性メンバーが10名おまして、4名が理事だったり、女性が活躍できる組織をずっと作ってきてます。やはり、女性がいると視点が違ったり、議案や事業の内容が男性目線だけではなく、ちゃんと女性目線もはいるので細部まで気付く事が出来ますよね。

大塚 石岡青年会議所にも理事メンバーに1名女性メンバーがおりまして、やはり理事会の意見なんか男性目線とは少し違った女性ならではの目線があるので細かい所にも気配りがあって気持ちも違いますし、なんと云いますか、テンションが上がりますね。(笑)

そこで、LOMとしても今後女性メンバーを拡大して参りたいと考えておりますが女性会員の拡大のコツなどございますでしょうか？

溝呂木 私、女性会員拡大で全国を回るので、そこでお聞きするものが、懇親会のあり方です。皆さんトイレをきれいに使ってますか？男女兼用の懇親会のトイレで皆さんが散らかした後に女性は拭いてから入っているんです！女性メンバーを拡大したいと言っているのに、皆さんは女性が嫌だなぁと思う事をしていて・・・そういった小さな事から変えていかないと女性は男性の中に入っていくいきたくないのです。

女性メンバーをどのように受け入れる体制を作るか、女性が輝ける組織づくりをどのようにしていくのかという事をメンバーの皆さんで考えていかなければ、この青年会議所ではなかなか難しいです。ただ入会させただけでは絶対に入らないので、お酒の飲み方だったりとか、トイレの使い方ひとつをとっても青年経済人らしくある事が女性会員拡大の第1歩という事をお伝えしています。

あとは、女性メンバーは1名だとしてもお姫様みたくになる場合があるので、そこは男性メンバーが確りとフォローしてあげて欲しい。

また、女子会みたいなものを定期的に開催して話させるといっても

大切です。

女性が2名だけお互いに仲が悪いなんて事もあるみたいで、男性も一緒に入ってる同僚会だとか、オブザーバーに女性をお呼びしたりとかして、女性同士の交流を強めて行くといいと思います。

最初は愚痴でも良いのですよ、男性メンバーへの愚痴になるかと思えますけれども、それでも良いですよ・・・(笑)

そして、女性メンバーの拡大はターゲットを絞って実施した方が良いと思います。異業種交流会も美容のセミナーを取り入れたり、美容グッズをお土産に持たせたりとか、懇親会は美味しいイタリアンですょとか、ペリダンスのショーが観られますょとか女性専用の交流会などと呼んで、最後に実はこれを設営しているのが私たち青年会議所なんです！と説明しながら、一緒に活動しませんか？みたいな感じでターゲットを絞った異業種交流会を開催するのは凄く効果的かな・・・と思います。

子育てとJC

大塚 例会や理事会など事業では時間的に拘束されますが、そういった時間的な部分に関してはどのように対策されておりますか？

溝呂木 今年度、東京ブロックでは今まで会議の時間が月曜日の夜と決められていましたが、終電が無かったりとか色々課題があるなと思います、まず改革したのが、会員会議所を土曜日の昼間か夕方に変更したのと、公式事業であるブロック大会やアカデミー研修委員会すべてに託児所を設けました。これは女性メンバーだけが使って欲しいとの思いで設けたのではなくて、男性の皆さんに是非使って欲しいと、ブロックの事業に来るときは是非お子さんを連れて来て頂いて、奥さんを休ませてあげたいね・・・との思いで。

とにかく、家族にも優しいJCじゃなければいけないですね。

そして、式典や会議の時間も前倒しで開催して早く集合して夜は早く終わるような形ですべて変更させて頂きました。夜が遅いJCではなく、組織として変化していく必要があるのではないのでしょうか。

大塚 組織としても、様々な変化をもたらしていかないと、難しい時代になってきていますよね・・・

溝呂木 やはり、子育てをしながら仕事をしている女性であっても役職を持って活躍できる組織になっていかないといけないかと思うので・・・すると夜遅いのは少し厳しいのかなと思います。

大塚 石岡青年会議所でも2017年に産休制度を取り入れて、定款を変更致し、現在メンバーが1名産休でお休みしているのですけれども、また復帰しやすい環境も確りと作り、今後は女性が活動しやすい環境も確りと作っていかねばならないと思います。



溝呂木 是非、お願い致します！

女性拡大の極意

大塚 最後のご質問でございます。こういった時代の中で、会員拡大の問題解決に向けたアプローチについては、会長から「これをすれば大丈夫！」というのを是非お聞かせ頂ければと思います。

溝呂木 LOMによって多分違うかと思うのですけれども・・・メンバーの意識統一が何よりも一番大切かと思うのですけれど、リストアップってどうしてますか？

大塚 年度ごとに作成しているリストを今年は共有させて頂いております。年齢によっては候補者から外すなどの作業は行っております。

溝呂木 1カ月に1回は更新した方が良さそうですね。リスト作成の担当者を1名任命して、候補者が出たり動きがあった場合は、その担当者が迅速に更新していくようにする。

例えば、自分の通ってる歯医者さんや子供の保育園の先生や美容師さんスポーツクラブのインストラクターなど自分の身の回りの方々の名前を、入会するしないではなく書いてくださいと言いなからリストアップさせていくと数分で何百人出てきますので、そこから年齢や状況を見て削っていくといいですよ！拡大目標人数の3倍から5倍のリストは持っていた方が良いと思います。フィルターをかけるのは年齢だけ！このようにメンバーの意識を変えることが大切です。入るか入らないかは相手が決める事ですので・・・(笑)

私が理事長の時に同級生の女性を入会させましたが、美容師さんでサラリーマン、さらに双子を出産して産休中だったので入会してくれました！

出向したり現在も頑張ってお話してくれていますが、彼女は、いずれ美容師として独立して自分のお店を持ちたいと考えていて、漠然とした想いしかなかったようだけれども、「40歳までしかJCは出来ないから入るなら今じゃない？」と話しました。双子のお母さんでも入会したりだとか、歯科衛生士の女性や事務の女性でも理事メンバーとして活躍しています。そして、能力が高いです！そういった女性の方でも活躍できる開かれた組織を作っていく事が拡大には必要です。

皆さんフィルターをかけて、産休中はJCなんて入らないよとかじゃなくて、入りますから。(笑)

大塚 勉強になります・・・(笑)

今年度は拡大もスローガン繋ぐ 全員で。全力で。の下、全員で全力で拡大を押し進めて参りたいと考えておりまして全体会議も開催しリストアップも進めております。

拡大に向けて頑張ってください。

本日は短い時間ではございましたが、お時間を作って頂き誠に有難うございました。

溝呂木 有難うございました。

溝呂木・大塚 拡大を全員で、全力で、やりましょう！



NAMI MIZOROKI

1979年東京都生まれ。株式会社MONE取締役、株式会社アポロ代表取締役社長、2006年あきる野青年会議所入会し、2016年 あきる野青年会議所 第20代理事長（あきる野 JC 女性初）
2019年（公社）日本青年会議所関東地区東京ブロック協議会 第48代会長に就任（東京ブロック女性初）

YOSHIYUKI OTSUKA

1979年茨城県生まれ。土浦第三高等学校卒業、東京自動車専門学校卒業。ブリヂストン株式会社茨城カンパニー、有限会社タイヤセンターオオツカ店長。2007年石岡JCに入会し、12年委員長13年副理事長を務める。17年専務理事、18年茨城ブロック議長を経て、19年理事長就任

NEXT conversation

特別対談第三弾

甲子園初出場記念

川井政平 × 大塚良幸

石岡第一高等学校硬式野球部監督

石岡 JC 第45代理事長



第48回

茨城ブロック大会 石岡大会



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
世界を変えるための17の目標

